

2243

遠山奇談後編

二

遠山奇談
後之二

しるへりしに、播磨のよびふりて山林里人の愁と
りぞくくけきおのりぬまげしむ時の内多ふつれ
よとをさるくくとをたぐるもくつれど。夜もよま
かりとも、陰くちるるにつれど。もみちむをぢ放
りばすまふふてくさるるを。てらむとまふらけふ
ぐる。中よりき木の石の道。志入のさむひふた名のたみ
やみちうらゆ。か矢とらうく。あひのどく。幾合する
ねとくくひ。家のなほとけりし。むむむむむむむむむむ
二つひと。あまもせら。をさるるもすまふまう。くくくくくく
あくとるふ。是又たきと冷くうらう。怒しきまの陰



身より一也。これふきづくくきと休り掛くおし飯う
 月いなる様一とぞ生り。くわづくき也。なるは
 じくより一也。おんふちよまういづく様。人とや
 ものつふふ。是いつふ人とされわさひが。くらん。ん
 がふ。あの飯とらとてい。と。きり也。ちきりこれ
 うつのだくうりて。懐び一也。ふんくわて一具也。
 ろて又サ一ひくふ。ねうく。おらうく。ゆ。ぶつ。の座
 あり。と。度と敷す。中ふ。方。二。夫。中。の。平。ふ。あり。是
 と。と。境。の。石。れ。く。い。け。り。り。と。ゆ。せ。た。あ。つ。り。
 早。う。り。る。時。を。い。ん。ぐ。も。も。ふ。境。を。い。る。西。の。ゆ。づ。り。

に。づ。る。後。頂。い。も。と。四。六。丁。も。ん。の。ふ。ぶ。と。マ。り。は。か。ん
 内。く。も。一。これ。い。ま。よ。つ。ほ。り。く。や。ん。だ。と。て。又。よ。と。あ。ん
 つ。ゆ。ふ。の。様。の。ゆ。り。あ。り。け。う。は。じ。が。お。ろ。ふ。ぬ。り。吸
 一と様。有り。凡。六。七。百。五。十。と。い。う。る。が。ん。と。ふ。た。は。は。い
 一とゆ。く。の。飯。と。し。き。が。ん。と。あ。つ。く。也。い。ふ。も。せ。ん
 一か。り。て。キ。も。と。い。ふ。つ。と。ニ。丁。中。も。い。ふ。も。一。也。さ。う
 一して。き。り。く。ま。介。止。一と。い。ふ。は。鉄。炮。と。い。う。や。う。に
 一せ。び。ん。ふ。き。ま。き。や。皆。通。り。あ。り。ま。り。く。様。の。那。と。述
 一て。心。お。ふ。り。が。飯。より。ま。り。く。と。い。ふ。あ。り。ま。り。さ
 一あ。り。の。飯。之。の。く。ら。に。衆。も。ふ。衆。す。と。い。ふ。ま。り。

店と建つり。月^{せん}をくつ^にく^はる。序^{くわい}素^す半^{はん}はまき^のに^{かん}
 言^ごふ。又^{また}先^{せん}院^{いん}もきき^すき^ん。ふ^のは^あみ^は横^{よこ}と^をれ^あり^ま
 ひ^ひく^ちら^るら^に已^い平^{へい}り^なり^まり^ま。又^{また}良^{りやう}の^か入^い流^{りゅう}り。
 月^{つき}も^もち^る飛^との^{きん}非^{へい}の^{かぶ}踊^{うた}ふ^んん^ん。中^{ちゆう}に^なん^だも^いえ^ん
 流^{りゅう}も^もき^ん。ま^の人^{にん}は^はま^まき^んに^して^も。あ^のれ^は涼^{りやう}。秋^{あき}の^月の^ふ
 た^たは^いら^なま^まち^わん。○^西山^{さん}な^み水^{みづ}の^しら^の。ひ^ひら^のの^やん^れ信^{しん}
 け^けん^のふ^まに^ゆり^り。も^もゆ^り。も^もち^ちせ^り。け^けん^のと^んん^ん
 月^{つき}の^やり^り雪^{ゆき}つ^りり^り。冬^{ふゆ}を^たん^んに^まけ^ん。入^いれ^の後^{のち}に^ま
 花^{はな}づ^つと^あり^り。と^うら^いわ^れな^し。お^のの^望望^{ぼうぼう}ま^りと^おと
 ひ^ひさ^さる。一^い毎^{まい}の^信信^{しん}に^しけ^げん^ん。さ^るふ^ふと^て

○を山は為素之三

○九

大^{おほ}太^た夫^ぶの^信信^{しん}に^して^も。信^{しん}を^まる^ると^ん。快^{かい}雅^{ぎやく}の^{しん}し^ん
 信^{しん}に^して^も。

○才十章 約ヶ中 約ヶ中 約ヶ中 約ヶ中

ま^まま^まの^場場^ばの^あふ^ふ。約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}と^らな^らり^り。終^{しゆう}頂^{てい}も^もい^い
 たり。又^{また}付^つに^ちや^やり^り。も^もま^まに^ま目^めに^して^も。

の^のも^もの^あら^るも^も約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}の^終頂^{てい}に^あり^り。隣^{りん}士^し甲^{かう}盤^{ばん}の^十十^{じゅう}
 足^{あし}付^{つき}に^して^も。約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}の^終頂^{てい}に^あり^り。

終^{しゆう}頂^{てい}も^もい^いたり。ふ^ふち^ちに^して^も。い^いの^樹木^もを^く。白^{はく}
 井^いも^もあり。ま^まに^して^も。約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}の^終頂^{てい}に^あり^り。又^{また}錫^{しやく}
 杖^{じょう}也^や

二^に大^{たい}ふ^ふり^り
 ま^まに^して^も。約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}の^終頂^{てい}に^あり^り。

二^に大^{たい}ふ^ふり^り
 ま^まに^して^も。約^{やく}ヶ^ヶ嶽^{たか}の^終頂^{てい}に^あり^り。

人と一匹。人と怒る体。一騎り。さう。か。さ。ら。も。似。り
ね。ら。い。強。健。の。お。う。さ。し。一。騎。冠。と。さ。よ。の。か。り。あり。わ
い。蹴。尻。毛。中。毛。赤。鶴。の。毛。も。む。ら。い。ら。だ。先。の。る。に
あ。ら。ら。と。ほ。ろ。ふ。か。る。く。ら。く。ま。ち。の。物。も。さ。あ。あり。さ
ほ。ふ。大。き。う。ろ。新。京。あり。一。ぶ。き。と。小。河。物。も。さ。あ。の。奥
今。村。と。さ。う。い。一。騎。相。と。さ。よ。の。さ。う。あり。一。騎。子。無。り。者
名。馬。と。お。せ。一。お。さ。し。一。天。平。の。は。八。月。林。と。一。騎。也
黒。毛。白。髪。白。尾。と。さ。よ。ふ。ら。て。一。騎。が。鞍。の。ら。あり。
名。馬。の。お。し。い。い。の。し。か。れ。た。も。今。も。中。の。先。と
る。ふ。大。く。う。ろ。う。ろ。時。の。先。を。れ。た。も。を。付。て。ま。れ。ば

○き山は扇巻之三

自。然。不。馬。の。像。あり。馬。の。く。く。一。先。を。れ。又。ほ。ふ。あり。
を。辨。ん。せ。と。さ。よ。と。一。夏。言。は。ま。さ。う。ろ。う。付。の。さ。れ。く。毛。ま
の。く。く。一。先。と。さ。よ。の。く。く。一。先。馬。の。ま。れ。た。も。自。然。の。馬
あり。一。騎。が。鞍。の。ゆ。え。一。騎。の。先。と。さ。よ。と。一。先。馬。の。ま。れ。た。も。自。然。の。馬
実。不。馬。の。像。あり。

自然の馬の像。一騎。先。と。さ。よ。の。く。く。一。先。馬。の。ま。れ。た。も。自。然。の。馬
あり。一。騎。が。鞍。の。ゆ。え。一。騎。の。先。と。さ。よ。と。一。先。馬。の。ま。れ。た。も。自。然。の。馬
実。不。馬。の。像。あり。



○もと山はる木之二

○十一

○才十二奉

あまき草

作い多ち郡ぐんああ常とこ木ぎををいいふふののありありわわりり休やすむむれればば
 ののししららににままけけるる木こ梢すずささううくくううんんをを断つたたけけ合あひひ
 いいづづれれのの木きををいいふふととままいいるる母はままををいいららひひ
 よりよりけけたたあありりもも母はままののふふららををいいげげああららんんどどもも
 坂さかききくくううくく深こ林りんのの聲こゑあありり天てんとと判はんりり
 かりかりいいららるる人ひと一ひととと毛けのの変かはりり不ふ解かいへへるるふふ不ふ解かい
 とと入いるるいいちちううふふいいつつのの巨こ木ぼけけららりりがが深ふかいいおおよよ
 ののびびととよよききるる石い敷しふふももううももままののびび又また化くわのの木き
 そそららををいいひひてて梢すずれれももいいららりりややもも木きままららんんがが

